

「地域公共交通の活性化・再生に関するシンポジウム」の開催について

北陸信越運輸局企画観光部交通企画課

1. シンポジウム開催の背景

新潟県のほぼ中央に位置する人口約10万人の都市、三条市では、平成19年度、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の施行後間もなく、市民代表者・交通事業者・学識経験者・行政などによる地域公共交通協議会を立ち上げ、今後10年間の三条市の公共交通活性化に向けた行動計画として、法律に基づく「地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

今年度は、この計画に基づく事業の一環として、デマンド交通システム導入の実証実験や公共交通啓発活動を「地域公共交通活性化・再生総合事業」の認定を受けて取り組んでいます。特に、デマンド交通システム導入の取り組みでは、東京大学の開発した、従来のIT活用型デマンド交通システムに比べ、情報インフラ・オペレーター費用の大幅な削減を可能とする新しいシステムを用いた実証実験を実施していますが、これは、運賃を収受しての同システムの実験としては、全国で初めてとなるものです。

現在、全国各地で地域公共交通の活性化・再生に向けた取り組みが進められていますが、中山間地域・過疎地域を多く抱える北陸信越地域では、交通空白地解消等の課題を解決するためにデマンド交通システムの活用に関心を寄せている地域が増えており、当運輸局や運輸支局へも先進事例に関する情報提供依頼や検討の進め方に関する相談が多く寄せられています。

このため、地域公共交通の活性化・再生に取り組む人材の育成を進めている北陸信越運輸局では、三条市における地域関係者の連携による公共交通の活性化・再生に向けた検討の進め方やデマンド交通システム導入等の新たな試みを他の地域でも参考にしてもらうべく、三条市地域公共交通協議会の協力のもと、当地において「地域公共交通の活性化・再生に関するシンポジウム」を開催することとしました。



「地域公共交通の活性化・再生に関するシンポジウム」の開催案内チラシ

2. 地域公共交通の活性化・再生に関するシンポジウムの概要

シンポジウムは、平成20年10月27日、三条市において、自治体職員や交通事業者、地域住民等を対象に、地域関係者の連携による公共交通の活性化・再生に向けた取組みについての理解の増進を図るとともに、そうした取組みを進める上でのデマンド交通システム導入等の新たな試みの可能性について議論を深めることを目的として、今年度、三条市で実証実験を行うデマンド交通システムの視察会と併せ開催しました。

シンポジウム開催にあたり、北陸信越運輸局管内から広く参加者を募ったところ、新潟県内をはじめ、遠くは、長野県南部地域や石川県能登地域の市町村からの参加もあり、運輸局管内の各市町村担当者、交通事業者、各種団体、地元関係者等約150名の参加がありました。



デマンド運行車両



後藤局長 挨拶



國定三条市長 挨拶

シンポジウム開催当日の午前中は、三条市から、当地で実証実験を行うデマンド交通システムの概要について説明を行った後、デマンド交通システムの車載器を搭載したバスによるデモンストレーションを実施し、参加者に新たなオンデマンド交通システムのイメージをつかんでもらいました。

午後からのシンポジウムでは、国土交通省総合政策局の野俣交通計画課長から「地域公共交通の活性化・再生について」、新しいデマンド交通システムを開発された東京大学の和教授から「オンデマンド交通の現状と将来」についてご講演いただき、また、パネルディスカッションでは、パネリストとして、野俣課長、和教授のほかに三条市地域公共交通協議会の会長である國定三条市長、(財)運輸政策研究機構の野田調査室次長に加わっていただき、三条市地域公共交通協議会副会長である長岡技術科学大学の松本教授をコーディネーターとして、「地域による取組みとデマンド交通システム導入等の新たな試みの実施に向けて」をテーマに議論いただきました。

シンポジウムの模様については、地元新聞報道等でも伝えられ、また、多くの参加者からは、日頃から関心のあるテーマであり勉強になったとの感想が寄せられるなど、大変有意義なシンポジウムとなりました。



基調講演



パネリスト



パネルディスカッション

「地域公共交通の活性化・再生に関するシンポジウム」の概要

1. 開催趣旨

本シンポジウムは、自治体職員や公共交通事業者、地域住民等を対象に、地域関係者の連携による公共交通の活性化・再生に向けた取組みについての理解の増進を図るとともに、そうした取組みを進める上でのデマンド交通システム導入等の新たな試みの可能性について議論を深めることを目的とする。

2. 日 時：平成20年10月27日（月） 13：30～

※ 午前中、希望者を対象に三条市デマンド交通システムの説明及びデモンストレーションを開催。

3. 場 所：「三条・燕リサーチコア 7階 マルチメディアホール」

4. 主 催：国土交通省北陸信越運輸局、三条市地域公共交通協議会

5. プログラム

- ・【主催者挨拶】 北陸信越運輸局長 後藤靖子
- ・【主催者挨拶】 三条市長 國定勇人
- ・【講演】 国土交通省総合政策局交通計画課長 野俣光孝
「地域公共交通の活性化・再生について」
- ・【講演】 東京大学教授 大和裕幸
「オンデマンド交通の現状と将来」
- ・【パネルディスカッション】
「地域による取組みとデマンド交通システム導入等の新たな試みの実施に向けて」
(コーディネーター) 長岡科学技術大学教授 松本昌二
(パネリスト) 東京大学教授 大和裕幸
国土交通省総合政策局交通計画課長 野俣光孝
三条市長 國定勇人
(財) 運輸政策研究機構調査室次長 野田雅夫